

令和6年度 今治市宮窪カレイ山展望公園指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市宮窪カレイ山展望公園
所在地	今治市宮窪町宮窪4703番地
指定管理者	名 称 N P O 法人能島の里 代表者 理事長 村上 利雄 住 所 今治市宮窪町宮窪4703番地
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者への声かけ、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。
担当部課 (問合せ先)	総合政策部 交流振興局 観光課 T E L : 0 8 9 8 - 3 6 - 1 5 4 1 E - mail : kankou@imabari-city.jp

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	施設の設置目的である「産業と観光の振興及び市民生活に安らぎとふれあいを与えとともに地域間交流を図る」を達成するため、適切な管理運営に努めた。	B	事業の履行はおおむね適正に行われている。今後も施設の設置目的や管理運営の基本方針を理解し、利用者にとってのサービス向上に向け、利用者の声を施設運営に取り入れながら、積極的に業務に取り組んでいただきたい。
利用状況	B	令和5年度と比べて、入園者数およびキャンプ場利用客数を増加させることができなかった。今後は地域資源活用や新たな価値創出を軸に温故知新な戦略を立てて、利用者の増加および顧客満足度の向上に取り組んでいきたい。	B	令和5年度と比べ、入園者数およびキャンプ場利用客が増加とならなかったことは残念である。今後、各種イベントの実施など、利用者増となる取組を期待する。
事業収支	B	今年度は、物価高騰の影響もあり、想定よりも支出が増え、全体としてはマイナスの結果となった。今後は入園者数やキャンプ場利用者数の増加、ならびに収入増加となるよう自主イベント等を行い、収支の黒字化を目指したい。	B	施設の管理に必要な支出であるため、理解はできる。また、燃料費等の物価高騰の影響もあり、収支がマイナスの結果となったことは残念である。今後、さらなる努力により、収支の健全化に向けた取組を実施していただきたい。
管理運営体制	A	職員間でのやり取りはスムーズに行われており、問題なく情報共有を行うことができている。定期的に内部研修を行い、施設の管理運営に必要な知識と技術の習得に努めた。	B	職員数が少ないながらも、適正な管理運営ができるよう人員配置ができている点は評価できる。今後もお互いの情報や知識を共有し、また若いスタッフの力を最大限に発揮し、お互い助け合いながら施設運営に努めていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営業務	B	定期的に作業日を設け、力を合わせて管理に取り組んでいる。利用者にとって危険だと判断したため、パイレーツテントの撤去を行った。また展望台およびキャンプ場横に設置されているトイレに関しても適宜清掃を行った。今後は、基本である清掃や植栽管理について、今一度管理方法を見直し、適切な対応を行いたい。	B	集客力を上げるための美観上の工夫等、適切な施設管理ができている。テレビ番組やウェブメディアで紹介されることも見受けられるため、今後も適切に管理運営を実施し、施設の魅力向上に努めていただきたい。
利用業務	B	ホームページやSNSを活用した広報活動、植栽管理等カレイ山展望公園内の美化などを行った。外部コンテンツのアウトドアサウナのほか、自然教育のフィールドとしても地元団体から活用されたこともあり、キャンプも含めてカレイ山の魅力向上の機運が高まりつつある。	B	利用者への対応は適切に行われている。今後はSNSなども積極的に活用し、効果的なPRを行うとともに、施設の利用者増加につながる取組を行っていただきたい。
その他業務	B	その他業務に関しては、駐車場管理業務に注力することによって、来場する車の安全性や円滑性に配慮した。今後も事故・災害を想定し、的確な予防対策を講じたい。また、公園に至る経路の美化清掃は困難な活動だが、視界が良くなり交通事故軽減につながるため積極的に行っていきたい。	B	利用者の事故予防に向けた取組に力を入れており、サービスの向上を図っている点は評価できる。引き続き、現地利用客のニーズを的確にとらえ、魅力向上に取り組んでいただきたい。
修繕業務	B	車両の整備を実施した。 その他施設内美化を図るため、水路清掃及び施設の枯木の伐採等を行った。また快適な利用のため、キャンプサイトの整地を行った。	B	修繕業務について円滑に行われている。今後も利用者への影響度などにより優先順位をつけながら修繕を実施し、利用者が安全に施設を利用できるよう努めていただきたい。
備品管理業務	B	今年度の備品の購入実績はなかったが、適切な備品管理を行い、不具合が見られた備品は修繕しながら使用した。	B	今後も適正な管理と効率的な更新を行っていただきたい。
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	地元特産品販売のための市場は、駐車場のスペースを侵食しないよう配慮して配置している。客層を鑑みて収益を上げるためにホットドッグ等の販売をしている。石の腰かけは展望台に上がることのできない高齢の利用者の方をはじめ、カップル、その他多数の利用者の方に活用していただける人気スポットとなっており、観光地化に大いに役立っている。	A	地形の特色を生かした施設を設置しており、特色のある場所の提供を行っている。 申請手続き、運営面において適切な処理ができており、利用者へのサービス向上が図られているため、今後も継続して取り組んでいただきたい。
自主事業	A	昨年度に引き続き、市場でテイクアウト可能な軽食の提供を実施。利用者はさほど多くはなかったが、来場者の満足度向上と施設の滞在時間延長につながった。今後は、自主事業として子ども向けイベントなどの開催を模索し、カレイ山のさらなる魅力向上と認知度アップに努めていきたい。	B	物品販売・飲食提供・大島石の展示など様々な事業を行っている点は評価できる。観光客や地元客の満足度向上につながっている一方、利用が少ないという課題がある。今後、施設の魅力向上のため、既存事業の充実化や新たなイベントの実施を模索し、観光客の誘致を図っていただきたい。
地域団体との連携	A	鵜島は能島と並んでカレイ山展望公園から望む景色には欠かせない要素の一つであり、鵜島の保全および魅力アップのために、協働で活動を毎年行っている。 今年は鵜島住民4名と能島の里会員11名の計15名で清掃を実施した。	B	地域団体と連携した取組を実施している点は評価できる。カレイ山展望公園から鵜島を臨む景観を守るため、今後も各団体との連携による清掃等協働活動を継続し、広域での地域活性化を図っていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用者 アンケート	B	口頭にてアンケートを実施した。 今後は、質問フォームのQRコードの設置を検討するほか、質問内容についても回答者の負担を軽減しつつ、実態把握に資する内容となるよう検討していきたい。 またアンケートフォームの設置に合わせて、口頭でのアンケートも質問内容を固定できるよう検討していくと共に、吸い上げられた潜在ニーズや課題への対応を検討していきたい。	B	アンケートの実施は、利用者の率直な意見や要望を聞くことができる重要な手段であるため、今後も継続して行うとともに、利用者のニーズを把握するためにも、効果的な設問や実施方法について今後も検討を重ねていただきたい。
事故・苦情	A	駐車場管理を適切に実施しており、事故については、発見・通報等はなかった。設備関連においても適切に管理を行い、苦情等はなかった。 今後も、事故や苦情等が発生しないよう適切な管理運営に努め、問題が発生した時には迅速に対応できるよう努めたい。加えて、お客様の声に応えられるような対応を進めていきたい。	B	大きなトラブルや事故の発生はなく、適切に管理運営できている。次年度も利用者の安全・安心に配慮した運営を実施していただきたい。また設備については日常的に点検を行い、未然に防ぐことが可能なものについては事前の修理等をお願いしたい。
指定管理者の 経営状態			会計帳簿等については法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められる。指定管理者の経営状況についても事業収支一覧や経営状況分析指標等から判断した限り、指定管理を安定して行う能力を有していると認められる。	

総 合 コ メ ン ト (市)
指定管理者は、カレイ山展望公園の魅力が十分に発揮できるよう、施設の管理・運営をおおむね適正に実施していると評価できる。近年、一時的に高まったアウトドア需要は徐々に落ち着きを見せているものの、自然を楽しむレジャーへの関心は依然として根強く残っている。こうした傾向を踏まえ、新たな付加価値が創出できるような取組を実施するとともに、アンケート結果を分析しながら、利用に対するより良いサービスが提供できる環境を整えることを期待する。また、今後はさらに新たな客層を取り込めるイベントを企画し、施設の積極的な利用を図っていただきたい。